

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における井高野小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年4月から7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- （1）子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （2）各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- （3）各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年の原則として全児童
- ・井高野小学校では、5年生 53名

3 調査内容

- ・児童に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
小学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、
50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」という。）
を実施する。

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立井高野	小学校	児童数	369
---------	-----	-----	-----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.80	18.71	30.66	37.91	48.51	8.85	135.34	20.74	51.34
大阪市	16.49	19.23	32.34	39.54	49.98	9.37	149.36	22.61	52.79
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
女子	15.44	16.22	35.89	34.06	29.50	9.61	125.00	14.11	49.61
大阪市	16.18	18.20	37.06	37.88	39.64	9.60	143.32	14.07	54.58
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72

結果の概要

・男子においては、「握力」と「50m走」は全国平均を上回っているが、他の種目はすべて全国平均を下回った。体力合計点では、全国平均より3.1ポイント低い。とりわけ、「反復横跳び」「立ち幅跳び」など基礎トレーニングから培われる体力が低い。しかし、50m走では8.85秒という全国平均より0.52秒も速い結果が出ている。全体的に体力面での大きな差はないが今後の体力向上に向けた取り組みが必要である。

・女子においては、まず18人という人数のうえで少ない条件でのデータである。「ソフトボール投げ」は全国平均を上回っているが、他の種目はすべて全国平均より低い結果である。体力合計点では、全国平均より7.1ポイント低い。種目では「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」など持続的な体力が低い。しかし、「50m走」などの実技面での力はほぼ全国平均と同じである。今後の体力向上に向けて、日頃の運動量を多くしていくための取り組みと工夫が必要である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の授業が主な運動の場であり、準備運動、体操、短距離走、持久走をはじめ、球技などの運動に取り組むことで、体力・運動能力、運動技能の習得を図ってきた。しかし、今年度は校舎の一部改築工事のため運動場が半分という悪環境での体育授業を強いられたことも結果の要因である。

男子は、休業日を中心にサッカーや野球、ミニバスケットボールなどのスポーツクラブに所属する児童は、課外での運動量は確保できている。他の児童にとっては、ほぼ学校での授業や休み時間の運動に限られている。女子の場合、課外でのスポーツを常習できている児童はかなり少ない。全体的に、一日の運動量が授業や休み時間だけであり、積極的な運動が今後必要である。

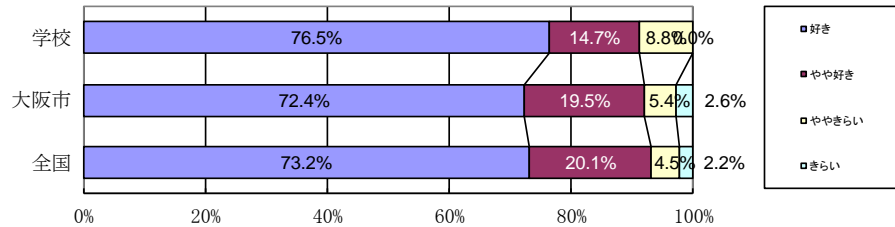
男女とも、体育の授業において、基礎・基本となる体力づくりと持久力の向上、球技など多様な種目の運動を体験させることで、スポーツへの興味・関心をさらに高めることと、ひとつひとつの運動での技術の向上に力を入れることが必要である。

運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

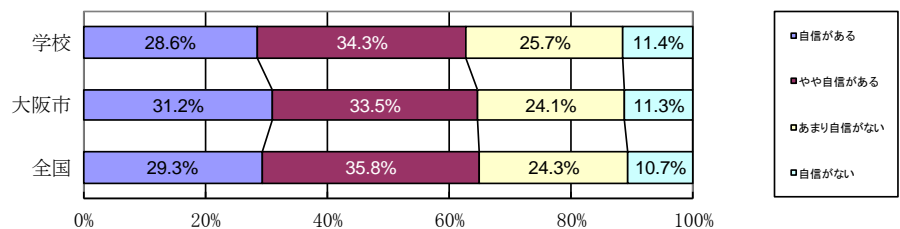
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



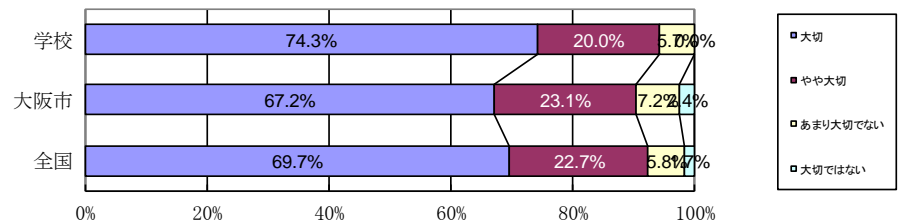
3

自分の体力・運動能力に自信がありますか



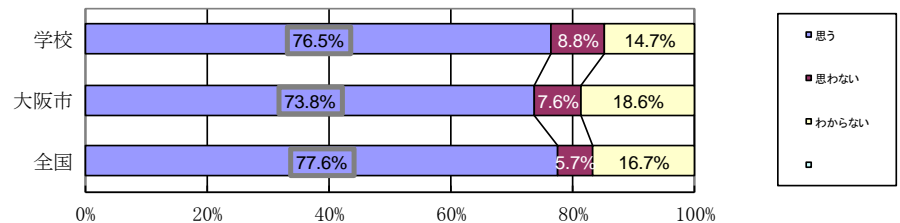
4

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか



5

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



成果と課題

児童の運動・スポーツに対する「好きかどうか」「自信」「意識」などの割合は、全国平均とほぼ同じである。体育の授業での充実感が高いといえる。休業日を中心に、サッカー、野球、ミニバスケットボールなどの運動チームに所属する児童はいるが、たいていは、学校の授業や休み時間での運動に限られている。

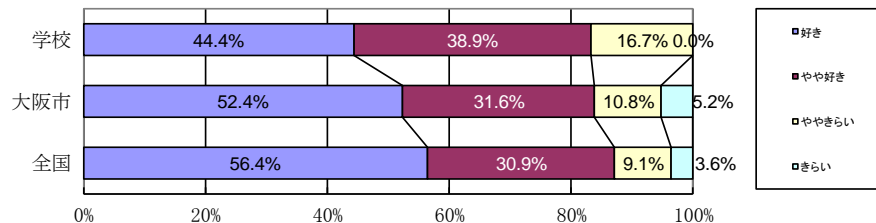
今後の取組

校舎の一部改築に伴う工事のため、運動場の半分しか使用できない状況がまだ継続する。一定の運動量の確保に向けた体育授業の充実、遊びを中心とした活動の工夫など、運動の楽しさを実感させる指導の計画と実施に努める。

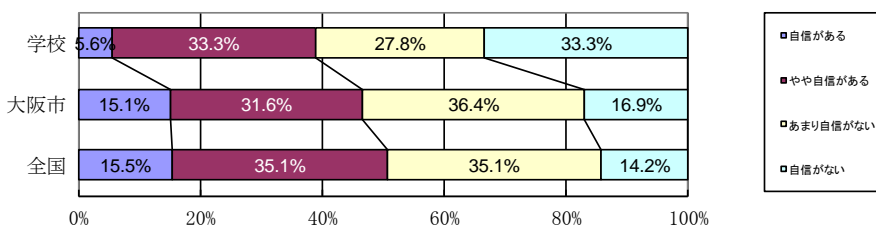
運動やスポーツについて（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

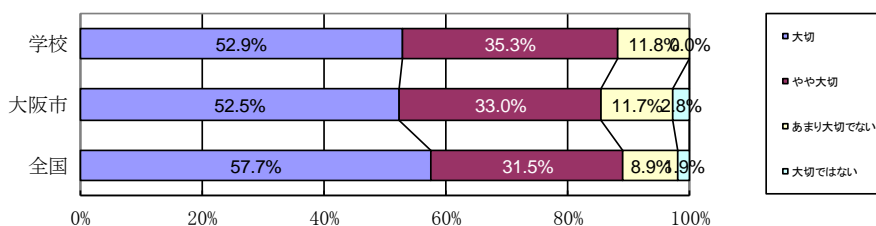
1
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



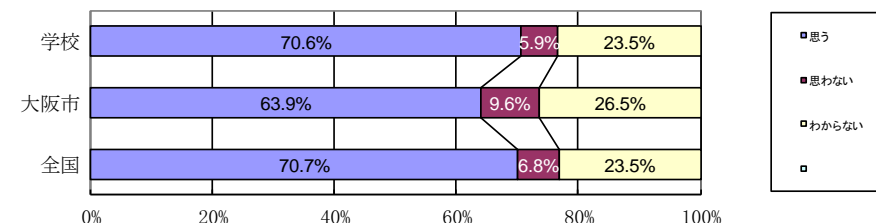
3
自分の体力・運動能力に自信がありますか



4
あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか



5
中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



成果と課題

児童の運動・スポーツに対する「好きかどうか」「自信」「意識」などの割合は、全国平均とほぼ同じである。体育の授業での充実感が高いといえる。休業日を中心に、サッカー、野球、ミニバスケットボールなどの運動チームに所属する児童はいるが、たいていは、学校の授業や休み時間での運動に限られている。

今後の取組

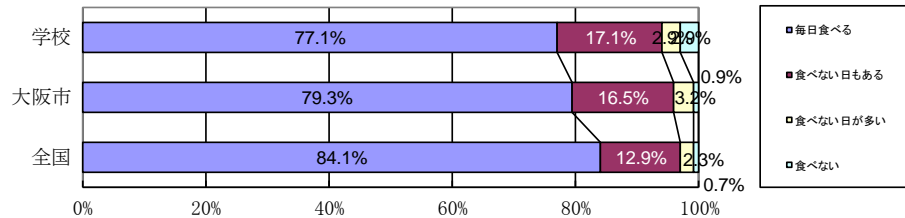
運動やスポーツをすることが好きな児童の割合はそう低いというわけではない。しかし、体力や運動能力に自信を持つ児童が4割に満たず、全国平均からも、また昨年度の5年生女子の結果からも低い。運動量が全体的に少ないことが、児童の自信喪失につながっていると考えられる。反面、運動・スポーツをすることへの意識は高く、将来的な意欲も十分にもっていることがわかる。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

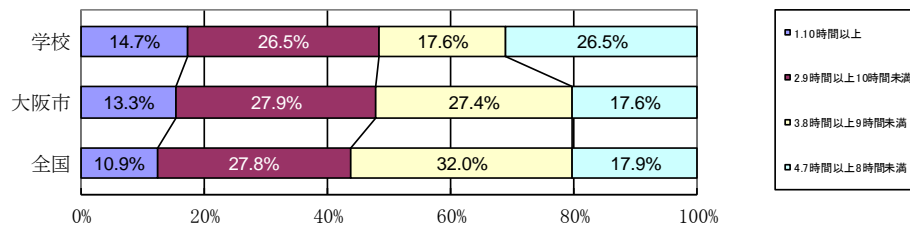
7

朝食は毎日食べますか(学校が
休みの日もふくめます)



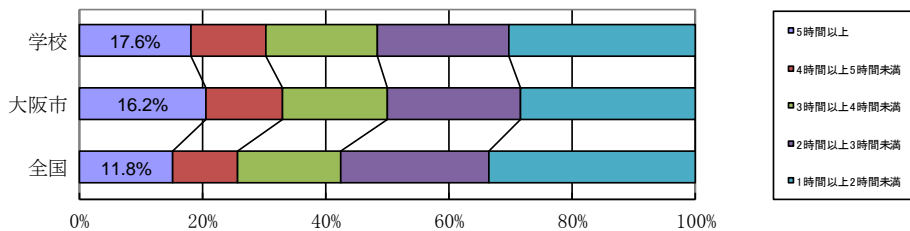
9

毎日どのくらいねていますか



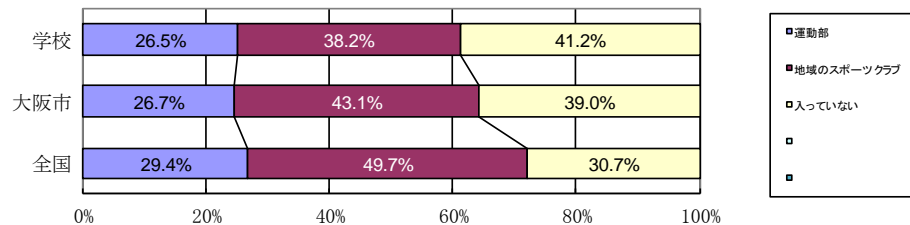
10

ふだんの平日(月～金曜日)に
ついて聞きます。学校から帰った
後、1日にどのくらいの時間、テレ
ビやDVD、ゲーム機、スマート
フォン、パソコンなどの画面を見
ていますか



12

学校の運動部や地域のスポー
ツクラブに入っていますか。(ス
ポーツ少年団をふくみます)当て
はまるものを全て選んでください



成果と課題

朝食を「毎日食べる」児童の割合は全国平均よりやや低い。朝食等の摂取を習慣化させるために保護者との連携を図る。学校外での運動チームや地域のスポーツクラブに所属する児童の割合も全国平均よりやや少ない。

今後の取組

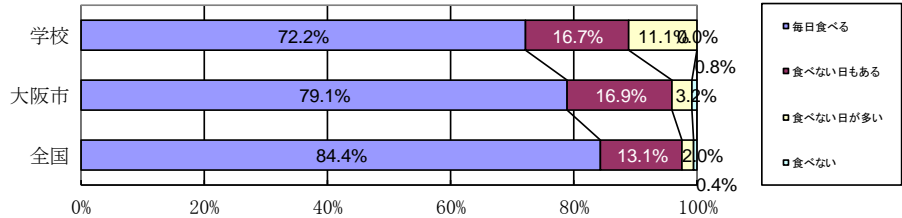
生活習慣の向上のために、保護者との連携だけでなく、PTA活動の一環として、さらには地域全体の取組みなど、子育て支援や家庭生活の改善等に向けた啓発を行う。

ふだんの生活について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

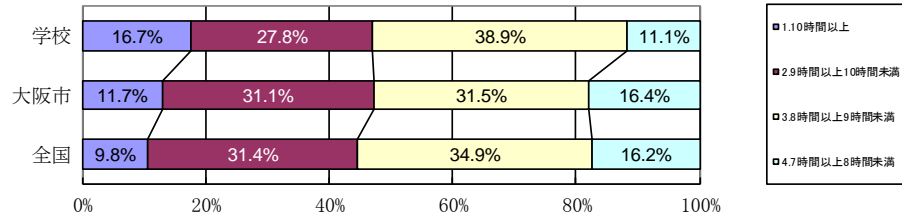
7

朝食は毎日食べますか(学校が
休みの日もふくめます)



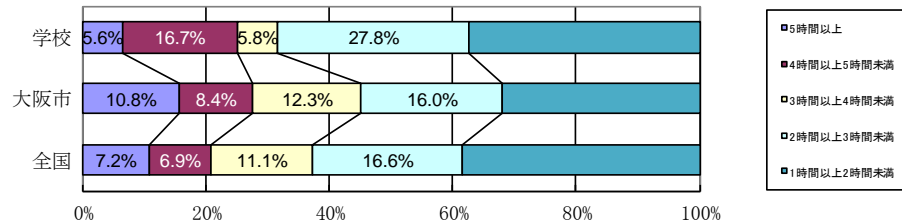
9

毎日どのくらいねていますか



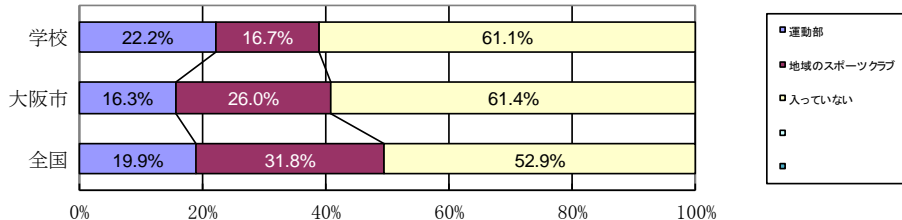
10

ふだんの平日(月～金曜日)に
ついて聞きます。学校から帰った
後、1日にどのくらいの時間、テレ
ビやDVD、ゲーム機、スマート
フォン、パソコンなどの画面を見
ていますか



12

学校の運動部や地域のスポー
ツクラブに入っていますか。(ス
ポーツ少年団をふくみます)当て
はまるものを全て選んでください



成果と課題

女子においても、朝食を「毎日食べる」児童の割合は全国平均よりやや低い。朝食等の摂取を習慣化させるために保護者との連携を図る。
また、学校外での運動チームや地域のスポーツクラブに所属する児童の割合も全国平均よりやや少ない。

今後の取組

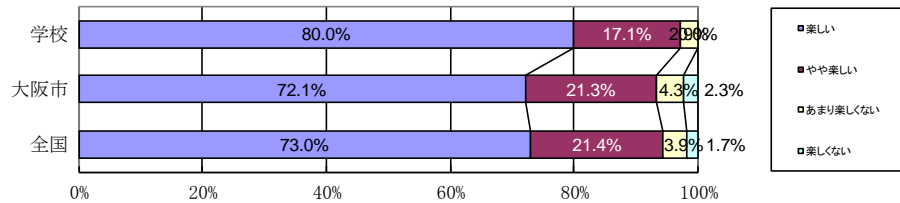
生活習慣の向上のために、保護者との連携だけでなく、PTA活動の一環として、さらには地域全体の取組みなど、子育て支援や家庭生活の改善等に向けた啓発を行う。

体育の授業について（男子）

質問番号 質問事項

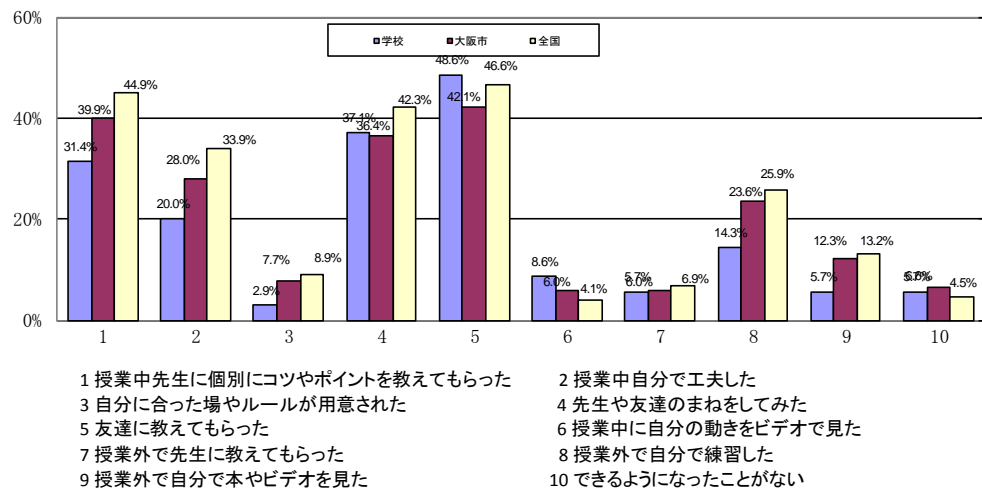
19

体育の授業は楽しいですか



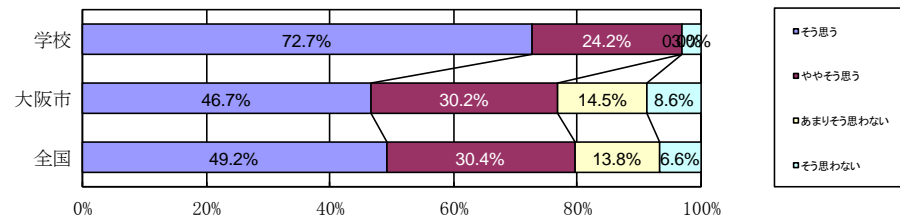
24

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



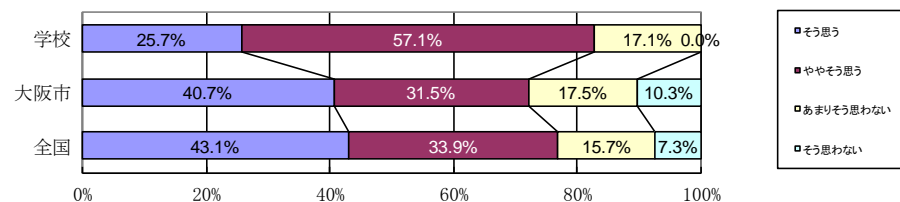
28

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか



27

体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみたいと思いますか



成果と課題

体育の授業について「楽しい」と感じる児童が80%もの高い割合であることは、日々の授業の充実感が成果となっている。さらに、「授業での学習が将来に役立つ・ほぼ役立つ」と感じる児童が97%もあり、全国平均よりかなり高い。体育の授業での体力づくりや技能向上に児童がとても重きを置いて学習しているといえる。いわば、体育の授業が主な運動の場であり、基礎・基本の運動をはじめ、球技、水泳など多岐にわたる種目に取り組むことで、体力、運動能力、運動技能の習得を図ってきた。

今後の取組

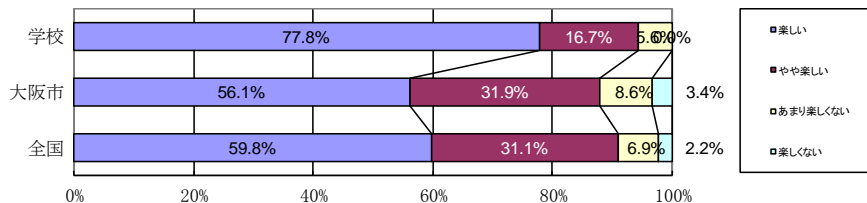
- ・基礎・基本的な体力づくりに向けて、体操、ランニング、ストレッチなどを習慣化させる。
- ・持続的な力をつけるために、「20mシャトルラン」等に定期的に取り組む。
- ・とくに、低学年に、水泳学習への興味や関心をさらに深めさせるための導入的な活動を習慣化させる。
- ・とくに、中学年以上に、球技などの技能の習得に向けて、グループ編成による試合や発表の機会をもたせる。

体育の授業について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

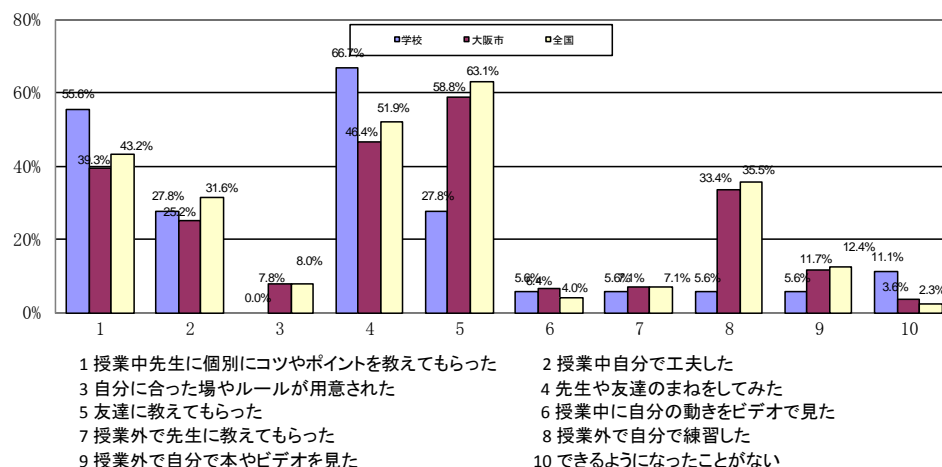
19

体育の授業は楽しいですか



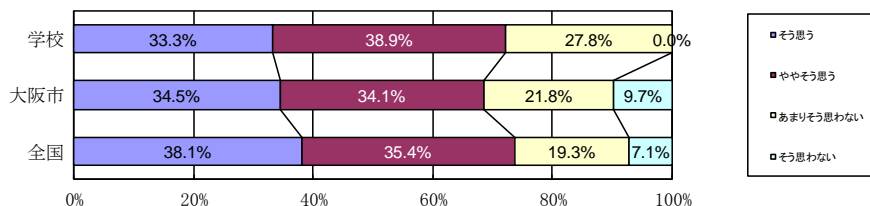
24

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



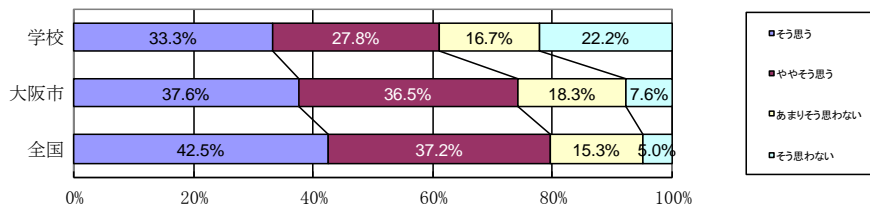
28

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか



27

体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思いますか



成果と課題

体育の授業について「楽しい」と感じる児童が78%近い高い割合であることは、日々の授業の充実感が成果となっている。また、体育の授業でできるようになった理由について、「先生や友達のまねをしてみた」が67%近くあるということからも、授業の影響の大きさを表している。ただ、女子については、体育の授業の「将来の役立ち」や「授業をさらに発展させたいか」ということについては、男子より現実的であり、あまり影響を受けないように思われる。

しかし、全体的には、授業での体力づくりや技能向上に児童がとても重きを置いて学習していて、体育の授業が主な運動の場であり、基礎・基本の運動をはじめ、球技、水泳など多岐にわたる種目に取り組むことで、体力、運動能力、運動技能の習得を図ってきた。

今後の取組

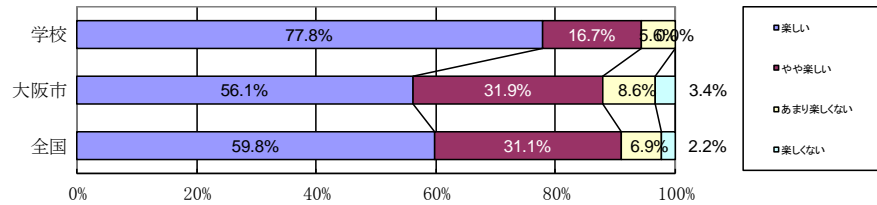
- ・基礎・基本的な体力づくりに向けて、体操、ランニング、ストレッチなどを習慣化させる。
- ・持久的な力をつけるために、「20mシャトルラン」等に定期的に取り組む。
- ・とくに、低学年に、水泳学習への興味や関心をさらに深めさせるための導入的な活動を習慣化させる。
- ・とくに、中学年以上に、球技などの技能の習得に向けて、グループ編成による試合や発表の機会をもたせる。

体育の授業について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

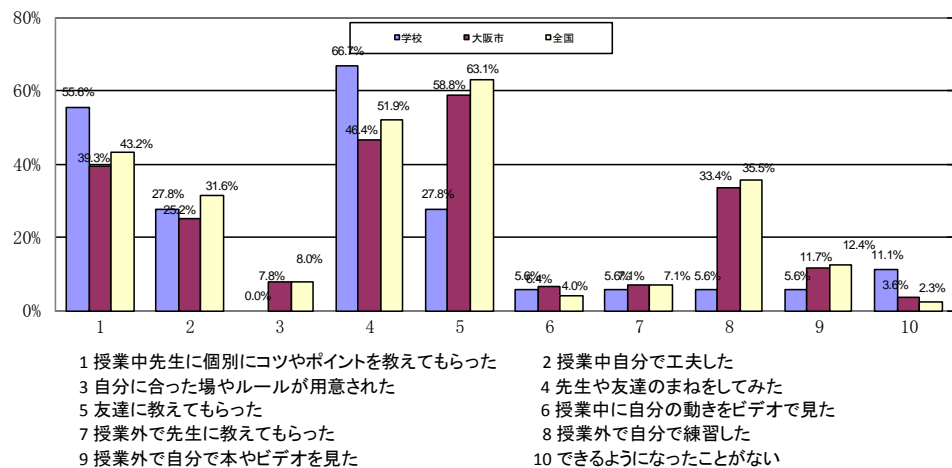
19

体育の授業は楽しいですか



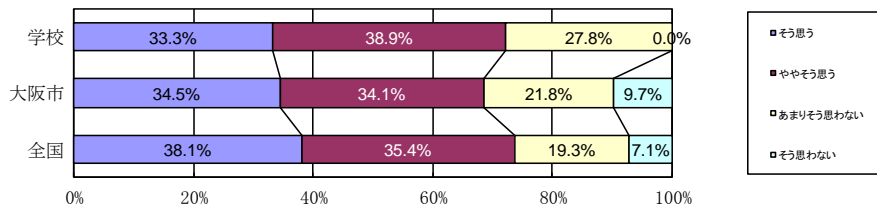
24

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



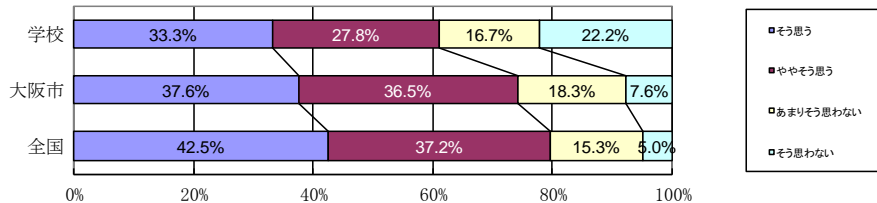
28

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか



27

体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思いますか



成果と課題

体育の授業について「楽しい」と感じる児童が78%近い高い割合であることは、日々の授業の充実感が成果となっている。また、体育の授業でできるようになった理由について、「先生や友達のまねをしてみた」が67%近くあるということからも、授業の影響の大きさを表している。ただ、女子については、体育の授業の「将来の役立ち」や「授業をさらに発展させたいか」ということについては、男子より現実的であり、あまり影響を受けないように思われる。

しかし、全体的には、授業での体力づくりや技能向上に児童がとても重きを置いて学習していて、体育の授業が主な運動の場であり、基礎・基本の運動をはじめ、球技、水泳など多岐にわたる種目に取り組むことで、体力、運動能力、運動技能の習得を図ってきた。

今後の取組

- ・基礎・基本的な体力づくりに向けて、体操、ランニング、ストレッチなどを習慣化させる。
- ・持久的な力をつけるために、「20mシャトルラン」等に定期的に取り組む。
- ・とくに、低学年に、水泳学習への興味や関心をさらに深めさせるための導入的な活動を習慣化させる。
- ・とくに、中学年以上に、球技などの技能の習得に向けて、グループ編成による試合や発表の機会をもたせる。

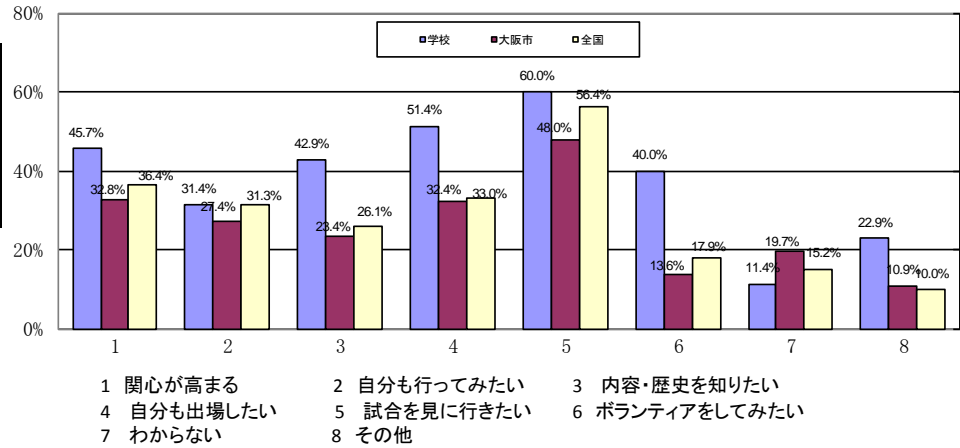
その他（男子）

質問
番号

質問事項

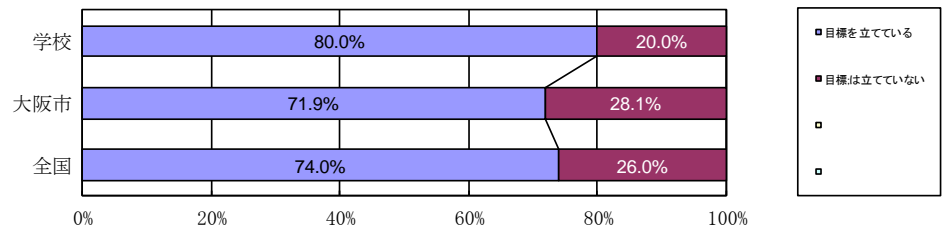
30

オリンピック・パラリンピックが2020年に日本で行われますが、あなたの今の気持ちに当てはまるものを全て選んでください



29

体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



成果と課題

オリンピックやパラリンピックへの興味・関心をもって臨んでいる児童が多い。ただ、自身が選手で出場することよりも、「観戦したい」「内容・歴史を知りたい」「ボランティアなどへの参加」等の割合が多い。

自身の体力・運動能力の向上について目標をもっているという児童の割合が、80%であり、全国平均を上回っている。児童が体力・運動能力の向上に向けて意欲的に取り組もうとしている姿勢がうかがえる。

今後の取組

体育の授業をはじめ、いろいろな体育的活動をたくさん経験させることで、より高い目標をもって取り組ませるよう努める。

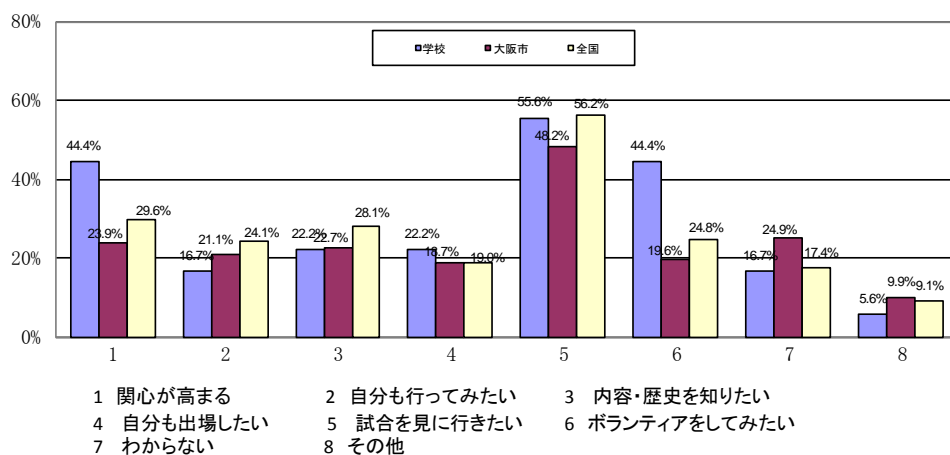
その他（女子）

質問
番号

質問事項

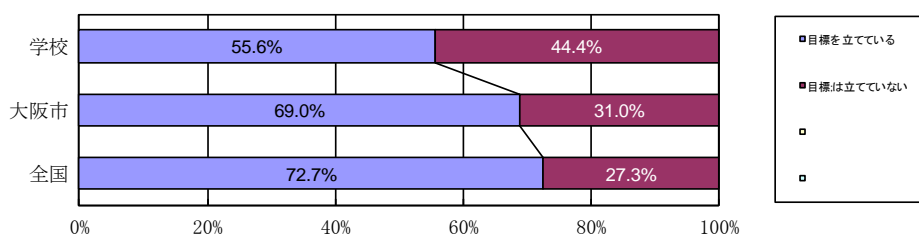
30

オリンピック・パラリンピックが2020年に日本で行われますが、あなたの今の気持ちに当てはまるものを全て選んでください



29

体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



成果と課題

オリンピックやパラリンピックへの興味・関心をもって臨んでいる児童が多い。ただ、自身が選手で出場することよりも、「観戦したい」「ボランティアなどへの参加」等の割合が多い。

自身の体力・運動能力の向上について目標をもっているという児童の割合が、全国平均の72.7%であるのに対し、55.6%にしか至らない結果である。児童が授業での充実感や達成感をもつことで、体力・運動能力への自信につながると考える。

今後の取組

体育の授業をはじめ、いろいろな体育的活動をたくさん経験させることで、より高い目標をもって取り組ませるよう努める。